

一覧表 議論が必要な学校区に関する検討課題整理

議論が必要な学校区

エリア	懸念される項目	基準	検討課題	選択肢の一例
全中学校エリア	めざす子ども像 「ふるさとを思い 志をもつ子」の実現		・魅力ある学校づくり、地域とともにある学校づくりを推進するにはどうすればいいか。	・検討組織の立ち上げ ・コミュニティ・スクールの推進 ・中学校区における小中連携・小中一貫教育の促進 等

早急な議論が必要な学校区

エリア	懸念される項目	基準	検討課題	選択肢の一例
江山中学校エリア (神戸小、美和小も含む)	小規模化に伴う教育効果	-1	・江山中学校区として小規模化に伴って懸念される教育効果の課題をどのように解決するのか。	・小規模校転入制度の導入 ・小中一貫校(義務教育学校) ・中中連携(集合授業) ・教育情報環境の整備 ・学校の統廃合 等
千代川以西エリア (城北小、大正小、世紀小)	通学上の安全面 適正配置に関する項目 大規模化に伴う教育効果	-2 -1 -2 -3	・現在の学校より近くに別の学校があること、通学路に危険(交通量の多い道路、橋)があるため、学校生活に支障をきたしている点をどのように解消するのか。 ・教室数の不足など施設面の課題をどのように解消するのか。	・小小連携の強化(集合授業) ・通学区域制の弾力的運用 1 ・学校選択可能な調整区域の設定 2 ・中学校選択制 ・検討組織の立ち上げ ・通学区域の再編成 等
気高中学校エリア (宝木小、瑞穂小、逢坂小、浜村小も含む)	小規模化に伴う教育効果	-1	・気高中学校区として小規模化に伴って懸念される教育効果の課題をどのように解決するのか。	・検討組織の立ち上げ ・小規模校転入制度の導入 ・小中一貫校の設置 ・西部地域の小小連携(集合授業)の促進 ・教育情報環境の整備 ・ふるさと教育カリキュラムの導入 ・学校の統廃合 等
中心市街地エリア (久松小、醇風小、遷喬小、日進小、富桑小、明德小、美保小)	適正配置に関する項目 小規模化に伴う教育効果	-1 -1 -4 -5	・中心市街地の空洞化が指摘されている中、狭い範囲に学校があることと、小規模化に伴う教育効果の課題をどのように解決するのか。	・小小連携(集合授業)の強化 ・通学区域制の弾力的運用 1 ・学校選択可能な調整区域の導入 2 ・複数校区での管理運営部門の統合(キャンパス方式) ・学校の統廃合 ・検討組織の立ち上げ ・通学区域の再編成 等
河原中学校エリア (西郷小、散岐小・河原第一小も含む)	小規模化に伴う教育効果	-1	・河原中学校区として小規模化に伴って懸念される教育効果の課題をどのように解決するのか。	・検討組織の立ち上げ ・小規模校転入制度の導入 ・小中一貫校の設置 ・小小連携(集合授業)の促進 ・教育情報環境の整備 ・ふるさと教育カリキュラムの導入 ・学校の統廃合 等
小規模小学校 (東郷小、明治小、佐治小)	小規模化に伴う教育効果	-1	・各小学校区として小規模化に伴って懸念される教育効果の課題をどのように解決するのか。	・検討組織の立ち上げ ・魅力ある学校づくり(教育特例校制度等)への取り組み ・学校間交流学習等の強化 ・小規模校転入制度の効果的な運用と制度の充実 ・学校の統廃合 等

基準についての分類

学校・学級規模に関する項目	5学級以下 (将来予測も含む)	I-1	小規模化により教育上の課題がある場合
	25学級以上 (将来予測も含む)	I-2	大規模化により教育上の課題がある場合 教室数の不足など施設面の課題も含む
通学に関する項目		-1	通学距離・時間が長い
		-2	通学手段の検討を要する
適正配置に関する項目		-1	現在の学校より近くに別の学校があり、保護者などから要望や苦情がある
		-2	通学路に危険がある(交通量の多い道路、橋、踏切等)
		-3	校区と自治会が整合しない地域
		-4	中心市街地の狭い範囲に学校がある
		-5	その他地区から要望がある

◎語句の説明

※1 通学区域の弾力的運用

指定校より近隣に学校がある、通学路に危険があるなどの個別の事情により、指定校（通学区域制度により教育委員会が指定する学校）の変更の申出をすることができる制度です（学校を自由に選択できる制度ではありません）。

※2 学校選択可能な調整区域の設定

近隣に学校がある、通学路に危険がある、地域コミュニティとの関係性等の状況を考慮して、指定されたエリアに居住する児童生徒に限り、指定校以外の近隣学校（受入校）を選択できる制度です。